

No.10

間違い安い日本語表現です

「汚名挽回」は誤りで、正しくは、「汚名返上です」。「挽回」とは「もとの状態に戻すこと」です。そのため、「挽回」を使うのであれば「名誉挽回」が正解です。不名誉な評判を取り払う、と言いたいのであれば、「汚名返上」や、「汚名を雪ぐ（すすぐ）」という言い方をします。

「とんでもございません」は誤りで、正しくは「とんでもないことでございます」です。

「とんでもない」は、「思いもかけない、意外である」や「まったくそうではない」ことを意味します。これを丁寧に言おうとして「ない」を「ございません」に変えようすると「とんでもございません」となりますが、これは誤りです。「とんでもない」で一つの言葉ですので「ない」だけを変えることはできません。

---

No.11

間違い安い日本語表現です

「飛ぶ鳥跡を濁さず」は誤りで、正しくは「立つ鳥跡を濁さず」です

「立つ鳥跡を濁さず」は、立ち去る者は、後が見苦しくないように後始末をしてから去るべきである、という戒めとして使われる言葉です。「飛ぶ鳥後を濁さず」という言い方は誤りです。

「目鼻が利く」は誤りで、正しくは「目端が利く」です

「目端（めはし）」は「眼力」のことで、「目端が利く」は、物事を素早く見抜いて抜け目がないことを意味します。目や鼻が鋭いという意味で「目が利く」「鼻が利く」という言い方はしますが、「目鼻が利く」とは言いません。

---

No.12

間違い安い日本語表現です

「取り付く暇がない」は誤りで、正しくは「取り付く島がない」です。

「取り付く島がない」は、船で海へ出たが立ち寄る島もなくどうしたらいいのかわからなくなることから転じて、「途方に暮れる」を意味します。「取り付く暇がない」は単純に「島」と「暇」の誤りです。

「二の舞を踏む」は誤りで、正しくは、「二の舞を演じる」です。

「二の舞」は、舞楽（ぶがく）で、「案摩（あま）」という踊りを他の人が踊ったのを見た後にそれを真似して、しっかりと踊れず失敗した様子を面白おかしく踊るものです。踊りは「踏む」のではなく「演じる」物なので「二の舞を演じる」が正解です。